広報 Ibaraki Public Information
いばらき
2023年（令和５年）
６月１日　発行
6
No.1083
June 2023

◆編集・発行
茨城町 町長公室 秘書広聴課
〒311-3192
茨城県東茨城郡茨城町小堤1080
☎ 029−292−1111
メールアドレス
ibarakit@town.ibaraki.lg.jp

◆人口
住民基本台帳
令和５年４月末現在
男　15,585人
女　15,425人
総人口　31,010人
世帯数　13,521世帯

◆茨城町民憲章
1 ふるさとの自然を守り、美しい環境の町をつくりましょう。

1 からだをきたえ、教養を高めて、すこやかな町をつくりましょう。

1 隣人や家庭の愛を大切にして、まごころのかよい合う町をつくりましょう。

1 自分の仕事に責任と誇りをもち、活気に満ちた町をつくりましょう。

1 文化遺産を愛護し、先人の努力に感謝できる町をつくりましょう。

◆町の花　桜
◆町の木　梅
◆町の鳥　うぐいす

◆町の防災行政無線が聞き取れなかった場合
防災行政無線テレフォンサービス
☎０８００−８００−８８４８
（通話料無料）
町ホームページにも放送内容を掲載しています。

◆町の情報発信中!!
●町公式ホームページ
https://www.town.ibaraki.lg.jp/
●町公式ツイッター
https://twitter.com/IbarakiTownMati/
●町公式インスタグラム
https://www.instagram.com/townibaraki_official/

里山に育む生きものたち

No.130　ウバユリ
（ユリ目　ユリ科）

学名　*Cardiocrinum cordatum* (Thunb.)Makino var. *cordatum*

写真・文　安　昌美

▼ウバユリとは

ウバユリはユリ科の多年草で、日本固有とされ、本州（宮城県・石川県以西）・四国・九州に知られています。山野の林下に生え、地下には根出葉の柄の基部が膨れた鱗片があります。鱗片が太ると大きな茎が伸びて先端部に花を数個つけます。花期は７～８月で、花は水平に出ますが、ヤマユリのように大きくは開きません。

写真は県北部の山地で令和４年８月に撮影されたものです。種子は扁平で秋に熟し、風で散布されます。茨城県内では山地部に見られ、平地部ではまれになります。付近では水戸市、小美玉市、鉾田市などに記録があります。町内では大戸と宮ヶ崎で確認しています。

▼ウバユリの生活

ユリ属にされることもありますが、ウバユリ属として扱われています。ヤマユリは開花した後も枯れませんが、ウバユリは枯れてしまいます。種子から芽を出し、７年ほどかけて地下の鱗片に栄養分を蓄え、やっと茎を伸ばして花を咲かせることができるのです。長寿命でありながら、生涯に一度だけ繁殖（開花・結実）を行うことから、一回繁殖型多年草と呼ばれています。

枯れた基部の娘鱗片から出た芽は３年目位で花をつけるそうです。この個体はクローンで遺伝子構成は親と同じです。虫媒花ですので、種子から発芽した個体の遺伝子構成は親と異なっているでしょう。

▼ウバユリの名前

漢字表記では「姥百合」となり、よく成長して花を咲かせる頃には葉が枯れ落ちてしまうことから、子どもが成人する頃には歯（葉）が無くなっている女性（姥）に例えたとされています。実際には写真のように、葉が枯れていないことも多いです。

各地に方言もあり、古くから鱗茎や若い葉が山菜とされていたようです。北海道ではウバユリと変種の関係にあるオオウバユリが、アイヌの人たちに利用されてきていたことが記録されています。和名から植物を連想するのは大変です。学名には葉の形態から、ギリシャ語で心臓を示す語が使われています。

ちびっ子アート　ひぬま保育園

「すべりだいだいすき」
おかやす　ここあ（５歳）

「たのしいほいくえん」
せき　いおり（５歳）

再生紙を使用しています
PRINTED WITH SOY INK 環境に優しい大豆油インキを使用しています